

かさまつ

青少年育成町民会議だより

はじめてみませんか…



地域の

ふれあい



円城寺の芭蕉踊

毎年八月二十二日、円城寺の秋葉神社「行燈まつり」の際、県重要無形民俗文化財の「円城寺の芭蕉踊」が披露されます。里帰りの機会になるほど、地域にとって、特別な日でお祭りも最高潮になります。小学四年生になると「唄」(節)を習い、五年生は「鉦」と踊り、女子は「横笛」、六年生になると「太鼓」と「舞」(踊り)を継承することになります。それぞれに役割があり、成長とともに責任感が生まれ、地域の方々のご指導のもと、技と向上心が高まっていくようです。練習は、夏休みに入るとはじまり、集会所で週三日(月水金)夜三時間程度を十三日間行います。保存会に属する町内会、子ども会役員の方々と笛方、唄方、踊り方の指導をされる方々に励まされ、温かく見守っていただく中で、子供たちはそれぞれの課題を乗り越えて伝授していきます。その中で地域性が生まれ、「技」の継承とともに世代間の繋がりをもち、地域力となっていくようです。地域文化を大切に誇れるまち、心を育む機会になっていくことを願います。

三世代ふれあい活動

地域活動部会

地域活動部会では、青少年の健全育成や地域の活性化を推進するために、町内育成員を中心に特色ある活動を通して、子どもからお年寄りまでがともに交流する三世代ふれあい活動を進めています。



▲北及第1「地蔵祭り」



▲田代東「三世代納涼夏祭り」



▲春日・東陽・常盤「町内もちつき大会」



▲中門間「春祭り」

青少年の作文 テーマ「家庭・学校・地域」

町の審査結果で、下記のとおり選ばれました。おめでとうございます。(敬称略)

最優秀賞



わたしとかぞく
下羽栗小1年
清水 羚来



おじいちゃんからの宿題
笠松小5年
宇佐美 有生



優しい町に
笠松中3年
森 麻衣子

優秀賞

- わたしとかぞく
笠松小 2年 西尾 珠乃
- わたしとちいき
松枝小 2年 中山 倫緒
- 福島の人達のために働く父
松枝小 5年 相崎 実桜
- あいさつで地域の輪を広げよう
下羽栗小 5年 今井 美希
- これからの吹奏楽部
笠松中 2年 金森 朱里

第34回 少年の主張大会

中央公民館 H.24.6.24

青少年教育部会

(敬称略)

最優秀賞に選ばれた2名の方は、県大会出場者選考委員会に推薦されました。その結果、松原あかねさんは土岐市で行われた県大会に出場し、優秀賞に輝きました。

最優秀賞



人のために働くということ
松原 あかね

中学生の部



優秀賞
武藤 明佳理 石樽 快都 田中 宏輝 岩田 隼太郎

最優秀賞



温かい笠松町
水野 礼奈

小学生の部



優秀賞

西松 新 岡田 光史 岩村 美歩 田中 舞衣 松原 悠衣 森田 滉史

非行対策部会

街頭啓発活動

青少年によい環境を

7月1日(日) 非行・被害防止活動とし、「笠松駅」「トミダヤ(長池)」「ピアゴ(米野)」にてティッシュや生花を配りました。準備を岐阜工業高校の皆さんにご協力いただきました。



▲公民館前にて出発式



▲トミダヤ(長池)での啓発活動風景



▲笠松駅での啓発活動風景



▲ピアゴ(米野)での啓発活動風景

家庭部会

二分の一成人式

～親から子へ・子から親への手紙～

家庭部会では、親子の絆を深め合う取り組みとして、今年も10歳を迎える児童とその親が互いに手紙を送りあう「二分の一成人式」を行いました。今年も心あたたまるメッセージが多く寄せられました。その一部を紹介します。



「二分の一成人式」の冊子

親から子へ

あなたが生まれてからの10年間、そしてこれから一緒に過ごしていく時間はお母さんの宝物です。10年はあっという間でした。あなたのことで喜んだり悲しんだり感動したり心配したりして1日が過ぎていきました。

これから成人式に向かっての10年間は今までより大変なことがたくさん起こるでしょう。でも、楽しいことだったたくさんあるでしょう。

どんな時でも「よく考え、まずは自分でやってみる。」今のあなたでいてください。そして、人を思いやる心も忘れないで欲しいです。ちょっとおしゃべりなところもそのまま。

お母さんの宝物がもっと輝くように、いろいろな経験をして、それを話してください。

親から子へ

ここまで無事に成長してくれてありがとう。

わがままで、泣き虫なおこりんぼうさんが気がつけばがまんできる事ができるようになり、人に感謝する事もできるやさしいお兄ちゃんになりましたね。

お母さんの手を借りなくても身の回りの事は何でも自分でできるようになって、こうして少しずつ手が離れていくんだなあと思うと嬉しい反面、寂しい気持ちもします。

これから先色々な事があると思います。

衝突する事もたくさんあると思います。だけど、どんな時もあるあなたの事は大好きで大切に思っていることだけは忘れないでください。お父さん、お母さんより

子から親へ

お父さん、お母さんへ

これまでの10年間を大切に育ててくれてありがとうを言いました。

ときどきいたあらしをしておこられたりしたけれど、お父さんとお母さんのあいだに生まれてきてとても幸せでうれしいです。

これからなにがあるか分からないけれどよろしくお願ひします。

子から親へ

お父さん、お母さんへ

大事に育ててくれてありがとう。

ほくが好きな事をしたい、毎日楽しくおぼせるのはお父さん、お母さんのおかげです。

今まであまえてばかりだったけど、これからは男らしくお母さんや妹を守れるようになりたいです。

それからお父さんは毎日仕事がいそがしくてつかれているのに休みの日はほくたちと遊んでくれてありがとう。世界一大事は家族だよ。これからも楽しくみんなでおぼしていこうね。

青少年健全育成講演会を開催しました

テーマ『スマートフォンに潜むこわ～い落とし穴』

講師 岐阜大学情報セキュリティ最高責任者(CISO)大学院教育学研究科 村瀬康一郎 様

日時 平成24年11月19日(月)

スマートフォンが急激に普及していく中で、携帯電話との違いや、知識不足による個人情報流出、子どもたち同士のいじめにつながったケースなど、具体例をあげてわかりやすくお話いただきました。

まず、大人が正しい知識をもって利用していくことを学ばせていただきました。



編集後記

「連携」「つながり」「絆」大切なキーワードとしてよく使われる言葉ですが、自他共に「心」のあり方、思いやりや妥協があつて成り立つことでしょうか。

「伝承」すること(つなぐ)は、何が大切で、何を伝えたいのか、心身(心と技)で興じることでしょう。其々の地域で行われる「ふれあい活動」も三世代で行うことにより「和み」が深まり、心の繋がりが、地域の繋がりが生まれています。今回、表紙に取り上げた「円城寺の芭蕉踊」は、古くからの伝統行事を今の子供たちが継承する。その中味(プロセス)に大切な要素がたくさん含まれていることと思います。その地域の活力、老いも若きも一緒になって汗をかき、涙する(感動すること)は何よりも大切なことでしょう。それが「伝統文化の継承」に繋がることは喜ばしいことです。春まつりの大行列も同様です。「マツリゴト」はその地域の活力であり「つながり」「感動」を生み出す最高のステージだと思えます。素敵なものに、活力あるまちに、そして子供たちが夢を抱けるよう、この豊かな地域性を皆さんの英知と努力で繋げていきたいものです。(昌)